



**T S U N A G U**

**小から中への滑らかな接続にむけて**

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年9月27日

我孫子市小中一貫教育だより

第339号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

### Abi-ふるさと「風水害・津波災害に立ち向かう」

我孫子第二小学校4年生の社会科で「風水害から暮らしを守る」の単元から自助・共助・公助に焦点を当て、災害に対する意識を高めることを目的とした授業が展開されました。

自分自身の身を守る方法、周囲の人たちが協力して助け合う方法、公的機関による救助・援助について、事前に自分で調べたことをグループに分かれて発表しました。グラフ等の資料を用いて発表することで、内容が分かりやすくなり、子ども達の中で学びが広がっていく様子が見られました。学級全体で共有したい情報は、先生がテレビ画面に映し紹介しました。子ども達は、話を聞きながら真剣に頷き、自分の意見と友達の意見を比較し、考えを広げていきました。その後、子ども達の発表に具体的な事例を交えながら、自助・共助・公助のそれぞれについて、考えをまとめていきました。



授業の最後には、「今、すぐに始められること」として「車のガソリンを満タンにしておく」「玄関付近に避難バッグを置いておく」といった、これまでとは異なる新たな視点での意見が発表されました。これから我孫子中学校区の3校で熟議され、完成形となっていくであろうオリジナルカリキュラムの1時間として、意義のある提案授業であったと思います。

### Abi-ふるさと「手賀沼干拓と井上二郎」

布佐南小学校5年生の総合的な学習の時間に、Abi-ふるさとの授業が行われました。事前に学習した我孫子の先人、「井上二郎」について学びを深めるため、学校の側にある旧井上邸へ見学に行きました。井上二郎が何をした人なのか、家紋はどんな紋か、土地の高さはどうなっているかなど、見学を開始する前に、事前に見学のポイントを確認しました。「何を見てくるのか」を明確にすることで、見学の視点が定まります。



子どもたちは先生から説明を聞く時間と、グループで自由に見学する時間を繰り返しながら、意欲的に学習していました。水害から米を守るため、蔵は母屋よりも高い位置にありました。人命よりも米を大切にしていた当時の暮らしを聞き、子どもたちはとても驚いていました。また、母屋にはたくさんの部屋があり、使用人を含め40人以上が住んでいたこと、囲炉裏がある中心の部屋からは、全ての部屋をみわたすことができることなど、井上二郎の暮らし方を想像しながら見学していました。

グループで1人は写真係となり、タブレット端末で学習のまとめに使えるような写真を撮影していました。四季の移ろいに合わせて花が咲く庭や、ドラマのロケに訪れた俳優のサインなど、友達と協力して時間いっぱい見学しました。我孫子市の偉人が学校の近くに住んでいたことを学び、地域の良さを味わうことができました。